

埼玉県内新卒者採用状況調査

採用計画が「有った」企業割合は3年ぶりに増加

2022年度の新卒者採用状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した。

✓ 採用計画の有無

2022年4月入社の新卒者について、採用計画が「有った」企業の割合は前年調査(2021年4月)から4.4ポイント増加の53.5%となった。

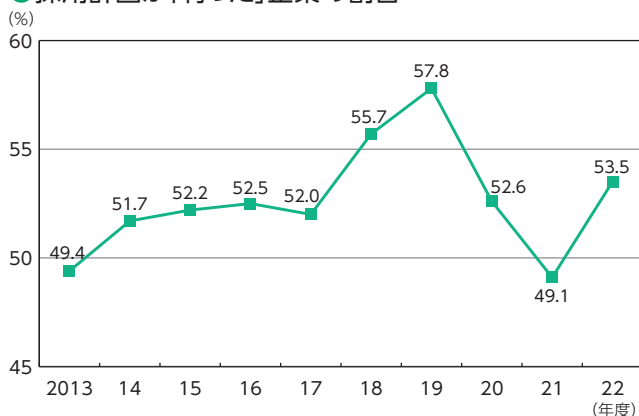
前年調査では新型コロナウイルス感染症の拡大により景気の先行きが不透明な中、採用に慎重な企業が増え、採用計画が「有った」企業割合は減少となった。今年度は企業業績が回復する中、新卒者の採用を計画した企業割合は3年ぶりに増加した。

業種別にみると、採用計画が「有った」企業割合は製造業57.3%(前年比+10.6ポイント)、非製造業51.4%(同+0.9ポイント)となった。両業種ともに前年を上回ったが、ここ数年減少していた製造業で大幅に増加した。

個別業種ごとにみると、採用計画が「有った」とする企業割合が高かったのは製造業では「紙・紙加工品」(83.3%)、「一般機械」(83.3%)、「輸送用機械」(71.4%)で、非製造業では「電気・ガス」(85.7%)、「小売」(77.3%)であった。

規模別にみると、採用計画が「有った」企業の割合は大企業81.0%(同±0ポイント)、中小企業は51.5%(同+4.5ポイント)となった。

● 採用計画が「有った」企業の割合

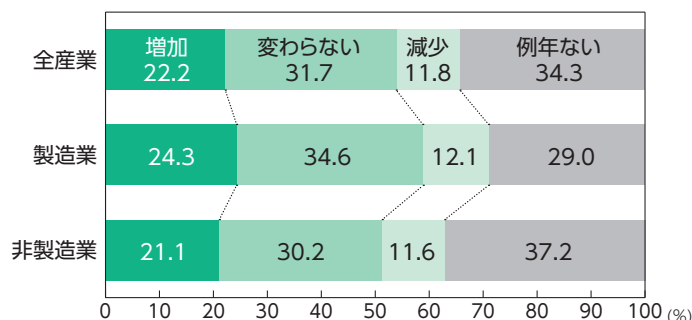


✓ 採用計画人数の前年度比増減

新卒者の採用計画人数については、前年に比べ「増加」22.2%(前年比+5.7ポイント)、「変わらない」31.7%(同▲0.1ポイント)、「減少」11.8%(同▲1.7ポイント)、「例年ない」34.3%(同▲3.9ポイント)となった。新卒者の採用計画人数は前年より「増加」としたところが増え、企業の採用意欲は前年より改善している。

業種別にみると、製造業は「増加」24.3%(同+10.7ポイント)、「変わらない」34.6%(同+3.2ポイント)、「減少」12.1%(同▲2.3ポイント)、「例年ない」29.0%(同▲11.7ポイント)、非製造業は「増加」21.1%(同+2.9ポイント)、「変わらない」30.2%(同▲1.9ポイント)、「減少」11.6%(同▲1.3ポイント)、「例年ない」37.2%(同+0.4ポイント)となり、両業種ともに「増加」が増え、「減少」が減った。

● 採用計画人数の前年度比増減



✓ 採用計画人数が増加した理由

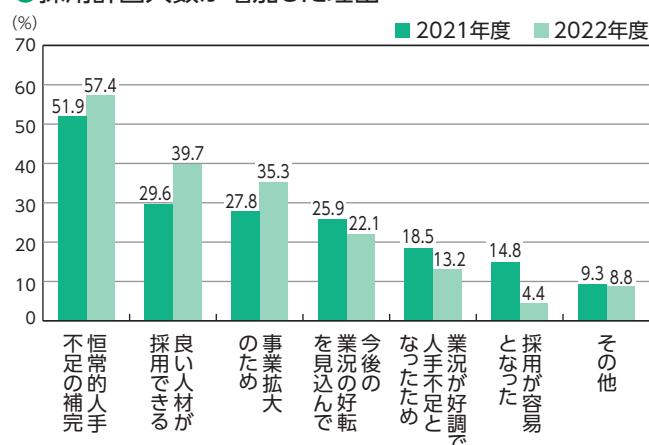
採用計画人数が「増加」した企業においてその理由は(複数回答)、「恒常的人手不足の補完」が57.4%(前年比+5.5ポイント)で最も多く、以下順に「良い人材が採用できる」39.7%(同+10.1ポイント)、「事業拡大のため」35.3%(同+7.5ポイント)、「今後の業況の好転を見込んで」22.1%(同▲3.8ポイント)、「業況が好調で人手不足となったため」13.2%(同▲5.3ポイント)、「採用が容易となった」4.4%(同▲10.4ポイント)となった。

前年に比べ「良い人材が採用できる」が大幅に増加したほか、「事業拡大のため」、「恒常的人手不足の補完」が増えた。

業種別にみると製造業は「恒常的人手不足の補完」が50.0%で最も多く、次いで「良い人材が確保できる」46.2%となった。非製造業も「恒常的人手不足の補完」が61.9%で最も多く、次いで「事業拡大のため」40.5%となった。

前年に比べ製造業は「良い人材が採用できる」が+27.4ポイントと大幅に増加し、非製造業は「事業拡大のため」が+16.8ポイントと大幅に増加した。

●採用計画人数が増加した理由



☑ 計画に対する採用の実績

計画に対する採用の実績は「ほぼ計画通り」60.8%（前年比▲6.6ポイント）、「やや不足」27.4%（同+5.6ポイント）、「大幅に不足」11.8%（同+1.1ポイント）となった。

計画段階においては採用人数を増やした企業が前年より増加したが、計画通り新卒者を確保できた企業は前年より減少した。

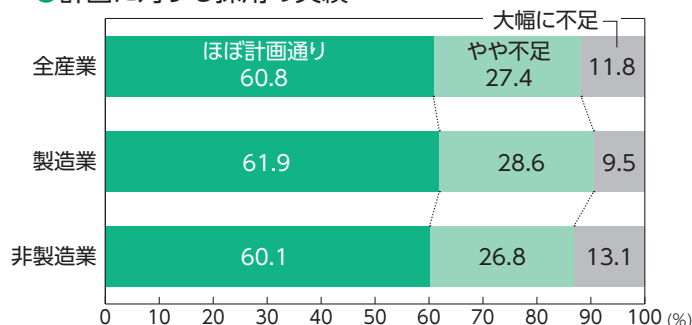
業種別にみると、製造業は「ほぼ計画通り」が61.9%（同▲3.7ポイント）、非製造業は60.1%（同▲8.4ポイント）となり、製造業、非製造業ともに計画通りの採用ができた企業は前年より減少した。

学歴別・職種別にみた不足部門の割合は（複数回

答）、「大卒技術」が52.7%（前年比+9.2ポイント）で最も高く、次いで「高卒技術」50.5%（同+3.4ポイント）、「専門技術」31.2%（同▲6.4ポイント）の順となり、例年同様に技術系の不足が多い。事務系は「大卒事務」26.9%（同+15.1ポイント）、高卒事務7.5%（同+2.8ポイント）、専門事務6.5%（同▲0.6ポイント）となった。事務系の不足率については技術系に比べて総じて低いものの、大卒事務、高卒事務は前年より増加した。

採用が計画に満たない分の対応策は「中途採用」が73.1%で最も多く、以下「人材派遣会社より調達する」24.7%、「パート等の採用」23.7%となった。

●計画に対する採用の実績



☑ 来年度の採用計画

来年度（2023年4月入社）の採用計画人数は、今年度より「増加」が17.5%、「変わらない」47.2%、「減少」4.2%、「未定」31.1%となった。「増加」が「減少」を上回っており、来年度の新卒者の採用は今年度より増加すると見込まれる。

なお、原材料価格の高騰やロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格の上昇、また、円安の進行など先行きの景気に対する不安材料がここにきて多く出てきており、これらが経営の圧迫要因となる企業では今後、採用計画を見直す可能性もある。（辻 和）

2022年4月実施。対象企業数1,019社、
回答企業数318社、回答率31.2%。